



発行元：藤和ビジョン株式会社（訪問マッサージ・はりきゅう/エステ/転倒予防トレーニング）
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482 二俣川院045-442-5439 青葉台院045-508-9560

藤和マッサージ二俣川院 スタッフ紹介② あんまマッサージ師・鍼灸師 木田 瞬

ケアマネジャー様、施設長様、皆さん、こんにちは！
藤和マッサージ二俣川院の施術者木田瞬です。
初めまして。結婚を機に横浜市瀬谷区に移り住み、
藤和マッサージでお仕事をさせていただくことになりました。
これまでは接骨院や治療院で、
来院される方を対象とした施術が多く、
訪問での施術は新しい発見ばかりです。
皆さまの治療を通して、鍼灸やマッサージの
可能性や面白さを、日々改めて感じています。
「痛むこと」、「できないこと」を抱えたまま生活
するのは、何とも辛く、もったいないことです。
鍼、マッサージ、運動。どれをとっても、より良い
治療、そして皆さまのより良い生活につながるよう、
「前進」の気持ちを忘れぬよう精進します。
「こんな症状は良くなるの？」と、気になることがあれば、
お気軽におたずねください。一緒に悩み、一緒に学び、一緒に良くなる、
そんな風に皆さまの不調と向き合っていければ幸いです。
どうぞ、よろしくお願ひいたします。
(二俣川院 木田 瞬)



何事も思いやりを持って対応します！



馬場悦子

矢内秀幸

佐藤文子

石井武司

岩本大輔

大野佑介

長谷川佳汰

代永涼子

山上暁

小池順一

村山朋洋

細田篤矢

小形沙織

橋本政晴

吉野智子

須藤 新

長谷川加代

佐藤浩嗣

松岡大輔

村山直樹

矢谷佳世乃

近藤マチ子

岩本友保

宮田大輔

中村匡志

矢部恵

小野寺義則

渡邊真之

萩原清徳

添田真理子

◎医療・介護関連ニュース◎



難病8万4000人に医療費助成せず…「軽症」患者が対象外に

(2018年6月21日読売新聞)

難病医療法に基づく医療費助成で、2015年の法施行の前から助成を受けていた患者向けの経過措置が昨年末に終わったのに伴い、新たに申請手続きを行った約8万4000人が軽症を理由に認定されなかったことが20日、厚生労働省の調査で明らかになった。経過措置で医療費助成を受けていた約72万7000人の12%を占める。同法施行後、国は医療費助成の対象となる病気を56から現在の331まで増やした。その一方で対象者を絞り、軽症と判断された患者は原則、助成対象から外した。ただし、同法施行前から助成を受けていた56の病気の患者については、経過措置として昨年12月まで、症状の軽重を問わず助成を続けていた。調査結果(今年6月現在の暫定値)によると、経過措置対象者のうち、今年1月以降も引き続き認定されたのは約57万7000人(79%)。このうち軽症でも治療費が高額なため、例外として助成継続を認められたのは約13万2000人だった。申請しなかった人も約6万4000人(9%)いた。

握力弱い人ほど、手術後に意識障害多く都健康長寿医療センター

(2018年6月19日読売新聞)

手術後の高齢者に錯乱などの意識障害(せん妄)が起きるリスクは、握力が弱い人ほど高いとする調査結果を、東京都健康長寿医療センターなどの研究チームがまとめた。同センターの石崎達郎研究部長は「意識障害を起こした患者が点滴を外したり、ベッドから転落したりする事故を防ぐ上で、握力の強弱が安全管理の目安として役立つ可能性がある」と説明している。2013～14年に関西地方の2病院で、麻酔を使う手術を受けた70歳以上の男女約1800人を対象に、意識障害の発生率と握力の強弱を調べた。意識障害の発生率は、最も握力が強い群(男34キロ・グラム、女20キロ以上)で1・7%だったのに対し、最も弱い群(男23キロ、女12・2キロ未満)で18・7%、測定不能群で23・2%だった。他のリスク因子の影響を除いて分析すると、握力の弱い人たちのリスクは3～4倍に上った。

おむつをそのまま下水に 国交省、実証実験を後押し パナソニックが今年度から開始

(2018年6月29日官庁通信社)

排泄ケアの精神的・肉体的な負担の軽減を目指す。紙おむつの処理を楽にすれば、介護を受ける人と提供する人、双方にとって大きなメリットがあると見込む。今年1月に有識者会議を設置し、具体的な方策やロードマップを検討してきた。現場への導入に向けたガイドラインを2022年度にはまとめ、実際に普及させていくフェーズに移りたい考えた。今年度の実証実験では、パナソニックが製作した「固形物分離タイプ」の処理機を試す。使用済みの紙おむつを投入すると、自動で排泄物やし尿を分離させて下水へ流す仕組みだ。残った紙おむつの部分は、脱臭・脱水やコンパクト化などを済ませてゴミとして回収する。処理後はきつい臭いなくなり、大きさも3分の1程度になるという。特養や老健などを運営する社会福祉法人サンライフが協力。施設のトイレに処理機を置く。パナソニックはユーザーへのアンケートなども通じて、現場のコスト意識やニーズ、課題などを探っていく考え。作業量のデータもとり、利用者や職員の負担が本当に軽くなっているかも確かめていく。来年度には改善機を作る予定。担当者は「設置する施設を3～4カ所まで増やし、検証の精度を高めていければ」と話す。開始する時期はまだ未定だが、なるべく早く始めたいとしている。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

TOWA
藤和

とうわ
藤和マッサージ

【訪問マッサージ・はりきゅう】

相模原院 ☎042-855-0420

町田院 ☎042-851-7528

海老名院 ☎046-204-5482

二俣川院 ☎045-442-5439

青葉台院 ☎045-508-9560

エステ・転倒予防トレーニング ☎0120-900-894

相模原市南区南台4-13-23-1階

町田市森野4-17-23-2階-B

海老名市中央3-3-13-202

横浜市旭区二俣川1-32-100

横浜市青葉区榎が丘14-3-205